

平成 25 年度当初予算案概要

財 政 局

復興を実感できる取り組みを加速的に推進するため復興プロジェクトに重点配分
当初予算と補正予算を一体的に編成し地域経済活性化と復興の歩みを間断なく推進
歳入アップや既存事業の厳選・重点化等による歳入歳出両面での財政基盤強化の取組

全体予算規模

復興事業の本格化に伴い 24 年度予算に引き続き **1 兆円を超える高水準の予算規模が継続**

	平成 24 年度	平成 25 年度	増減額	増減率
一般会計	5,787 億円	5,461 億円	326 億円	94.4%
特別会計	2,897 億円	3,021 億円	+ 124 億円	104.3%
企業会計	2,379 億円	2,335 億円	44 億円	98.1%
合 計	1 兆 1,063 億円	1 兆 817 億円	246 億円	97.8%

新年度予算のポイント（企業会計含む）

震災復興計画の加速的な推進 - 1513 億円を最重点配分 -

百万人の復興プロジェクト 837.3 億円、公共施設等復旧 352.7 億円 など

< 主な重点政策 >**「新たなふるさとづくり」**

防災集団移転促進 264.9 億円、復興公営住宅建設 224.8 億円、市街地宅地再建プロジェクト 169.0 億円、生活復興プロジェクト 18.9 億円など

「未来へつなぐ安全なまちづくり」

津波減災・避難施設整備 46.8 億円、防災・仙台モデル構築プロジェクト 27.2 億円、災害に強い都市づくり 121.0 億円(緊急輸送道路防災対策・下水道地震対策・下水道浸水対策・上水道施設災害対策・都市ガス防災対策強化・消防ヘリポート再整備・民間建築物耐震化等促進) など

「東北の元気づくり」

仙台経済ステップアッププラン 2013 推進 150.1 億円 < 東北復興交流パーク 1.4 億円、地域企業ビジネスマッチングセンター 0.7 億円、商店街にぎわい創出 26.7 億円、観光資源活用 10.2 億円、企業・農業再生 52.5 億円、雇用拡大・ミスマッチ解消 37.1 億円など >

「復興の先を見据えたまちづくり」

地下鉄東西線建設 124.4 億円、東西線フル活用プラン 2013 推進 9.6 億円、「せんだい E-Action」推進 0.3 億円、すこやか子育てプラン推進 307.5 億円、水痘・おたふくかぜ予防接種 1.8 億円、泉岳自然ふれあい館整備・運営 2.4 億円 など

平成 25 年度予算編成の状況

1 予算編成方針の骨子

平成 25 年度予算編成に当たっては、「市民が確かな復興再生を実感でき本市の発展へつなげる予算」、「必要な施策を支えうる財政基盤の確立に向けた取組みを推進する予算」を目指し、震災後の社会経済情勢や市民ニーズの変化へ対応しつつ、将来を見据えた持続可能な財政基盤の構築に向けた取組みを推進。

2 予算見積・調整の状況

予算見積（10～11月）

予算調製（11～12月）

予算事務内示（12月）

復活要求や以下の要素による追加・修正の要求（1月）

- ・ 予算見積の追加・修正や年次調整

平成 24 年度補正予算編成と合わせた最終調整

一般会計予算における予算見積・最終調整の状況

	歳入	歳出	差引（収支差）
予算見積集計	5,389 億円	5,753 億円	364 億円
予算編成過程における精査・調整等	168 億円	302 億円	改善 134 億円
最終調整後(財源対策前)	5,221 億円	5,451 億円	230 億円

- ・ 財源の精査及び基金等の活用による歳入の確保
- ・ 国補正に伴う公共事業の追加、経常経費の精査、事業の年次調整等による歳出の調整

3 財源対策の状況 一般会計における最終調整後の収支差 230 億円への対応状況

	歳入	歳出	収支差対応
財政調整基金繰入 （株式売却収入 10 億円を含む）	+191 億円		+ 191 億円
市債管理基金繰入	+ 15 億円		+ 15 億円
行政改革推進債	+ 5 億円		+ 5 億円
特定目的基金充当範囲拡大	+ 19 億円		+ 19 億円
保有株式売却収入	+ 10 億円	+ 10 億円	
	+ 240 億円	+ 10 億円	+ 230 億円

- ・ 保有株式売却は、売却収入として歳入に計上し、運用収入として財政調整基金に積み立てることから歳入・歳出に計上。

4 一般会計当初予算額

	歳入	歳出
調整の状況 + 財源対策の状況	5,461 億円	5,461 億円